

深圳市神牛摄影器材有限公司
GODOX Photo Equipment Co., Ltd.

所在地/Add: 深セン市宝安区福海街道塘尾社区耀川工業区厂房2棟1階~4階、4棟1階~4階
1st to 4th Floor, Building 2/ 1st to 4th Floor, Building 4, Yaochuan Industrial Zone,
Tangwei Community, Fuhai Street, Bao'an District, Shenzhen, China
電話 /Tel: +86-755-29609320(8062) ファックス /Fax: +86-755-25723423
電子メール/E-mail: godox@godox.com <http://www.godox.com>
705-FC1600-07 Made In China

FC CE RoHS  

Godox 神牛

FC16

2.4GHz撮影多機能リモコン

取扱説明書



はじめに

このリモコンは2.4 GHzワイヤレスでデータを伝送し、耐干渉性が高く、到達距離が遠く、安定性が高く、消費電力が低いです。トランスミッターとレシーバーからなり、ワイヤレスシンクロスタジオフラッシュトリガー、ワイヤレスカメラフラッシュトリガーとカメラシャッターコントローラーとして機能させ、異なる撮影モードを実現しています。16のコントロールチャンネルがオプションで、複数のカメラマンが同時に撮影するニーズを満たすことができます。当製品はCANON、NIKON、SONY、PENTAXなどを含むあらゆる市販ブランドのカメラに対応でき、カメラのリモコンコードを交換するだけで、異なるブランドのカメラに使用できます。同時に、各ブランドのスタジオフラッシュ、アウトドアフラッシュ、カメラフラッシュにも適用できます。弊社は複数タイプのカメラリモコンコード(詳しくは下記の表をご参照)をオプションとして提供しています。付属しているカメラリモコンコードのモデルによって、CANON向け、NIKON向け、SONY向けの3種類に分けられ、他のカメラブランドの場合、相応するカメラリモコンコードを別途購入してください。

目次

はじめに

警告

部品

●本体

●アクセサリー

電池

●電池の装着

●電池の交換

固定及び取付

機能選択スイッチ

チャンネル設定の説明

リモコンの使用

●ワイヤレススタジオフラッシュトリガーモード

●ワイヤレスカメラフラッシュトリガーモード

●ワイヤレスカメラシャッタートリガー

仕様

カメラリモコンコードモデル及び対応カメラモデル

よくある問題

リモコンのお手入れ

警告

⚠️ 自分勝手に本製品を分解しないでください。製品に故障が出た場合、弊社または授權された専門者よりチェックし、メンテナンスします。

⚠️ 乾燥を保ってください。濡れた手で本製品に接触したり、本製品を水の中に浸したり、雨に晒されたりしないでください。

⚠️ 子供の手が届かないところに保管してください。

⚠️ 燃えやすい、爆発しやすい環境で使用しないでください。このような場合、関連する警告マークにご注意ください。

⚠️ 50℃を超える高温環境に置かないでください。

⚠️ いかなる故障が起こった場合、直ちにトリガーの電源をOFFにしてください。

⚠️ **電池使用時の注意事項**

本取扱説明書に記入された電池しか使えません。新しい電池と古い電池またはタイプの異なった電池を混ぜて使わないでください。メーカーに提供された警告または指示を詳しく読んで遵守してください。

電池を短絡させたり、分解したりしないでください。

電池を火の中に投げたり、加熱したりしないでください。

電池を装着する時に電池の極性にご注意ください。

電池残量が切れると、電池が液漏れしやすくなります。製品をダメージすることを避けるため、長期間にわたって本製品を使わない時または電池残量が切れる時に電池を取り出してください。

ダメージを受けた電池から漏れた液体がお肌または衣類に接触した場合、直ちに大量の清水で洗い流してください。

部品

●本体

トランスミッター

- 01. 機能選択スイッチ
 - Flash (フラッシュトリガー)
 - OFF (電源を切ります)
 - Camera (シャッター普通撮影と長時間露出)
 - Delay (シャッターディレイ撮影)
- 02. チャンネル選択スイッチ
- 03. トリガーボタン
 - 半押し
 - 全押し
- 04. トランスミッション状態インジケータ (ダブルカラーLED表示)
- 05. ホットシュートリガーコネクタ
- 06. 電池ケース
- 07. PCトリガーコネクタ

レシーバー

- 08. 機能選択スイッチ
 - Flash (フラッシュトリガー)
 - OFF (電源を切ります)
 - Camera (シャッター普通撮影、長時間露出とディレイ撮影)
- 09. チャンネル選択スイッチ
- 10. レシーブ状態インジケータ (ダブルカラーLED表示)
- 11. カメラフラッシュトリガーコネクタ
- 12. スタジオフラッシュトリガーコネクタ
- 13. シャッター接続コネクタ
- 14. ホットシュー固定シート
- 15. 電池ケース
- 16. 1/4"ホルダー固定ねじ



● アクセサリー

1. カメラリモコンシャッターコード
2. フラッシュシンクロコード
3. シンクロ変換コネクタ

! 注：カメラブランドによって、付属するカメラリモコンコードは少し違ったことがあります。詳しくは「対応モデル」の説明をご参照ください。



電池

● 電池の装着

トランスミッターとレシーバーの裏面にある電池ケースのカバーをオープンし、電池ケースの正極と負極の指示によってそれぞれ二つのAAA 1.5Vアルカリ電池(別途購入)を装着します。

● 電池の交換

電池残量が少なくなった時に、ミスフラッシュまたはフラッシュ発光無しという現象が生じることがあります。このような現象は電池残量少の早期警告信号です。このような場合、直ちに電池を交換してください。電池を交換する時、下記のステップに行ってください。

1. カメラの電源を切り、リモコンとの接続をオフにします。
2. 電池を取り出して、新しい電池を装着します。



! リモコンを使わない時
トランスミッターとレシーバーに電源オフスイッチがあります。使用しない場合、電池の電力消費を低減させるため、電源スイッチを「OFF」にプッシュしてください。

固定及び取付

カメラフラッシュをトランスミッターに取り付けます

カメラフラッシュのホットシューをトランスミッターの「カメラフラッシュトリガーコネクタ」(11)に合わせて差し込み、フラッシュをしっかりとロックします。

トランスミッターをフラッシュスタンドに取り付けます

トランスミッターのボトムに1/4"のスタンド取付ホールがあり、トランスミッターをフラッシュスタンドに固定して使うことができます。

トランスミッターをカメラホットシューに取り付けます

トランスミッターのホットシューシートを利用して、トランスミッターをカメラホットシューに取り付けることができます。トランスミッターのホットシューをカメラホットシューシートに合わせて差し込み、トランスミッターをロックするだけで良いです。

機能選択スイッチ

	トランスミッター	レシーバー	意味	ダブルカラーLEDインジケータ
機能選択スイッチ	Flash	Flash	スタジオフラッシュトリガーとカメラフラッシュモード	常時に黄緑色点滅(2秒置きに)、トリガー時に赤色点滅
	Camera	Camera	シャッター即時撮影モード	常時に赤色点滅(2S置きに)。半押しする時に黄緑色に表示され、全押しする時に赤色に表示されます。
	Delay		シャッターデレイ撮影モード	

チャンネル設定の説明

FCシリーズリモコンは16個のチャンネルを有しており、使用前にトランスミッターとレシーバーを同じチャンネルに設定しなければなりません。チャンネル設定は下記の表をご参照ください。

チャンネル数	1	2	3	4	5	6	7	8
S1	0	1	0	1	0	1	0	1
S2	0	0	1	1	0	0	1	1
S3	0	0	0	0	1	1	1	1
S4	0	0	0	0	0	0	0	0

チャンネル数	9	10	11	12	13	14	15	16
S1	0	1	0	1	0	1	0	1
S2	0	0	1	1	0	0	1	1
S3	0	0	0	0	1	1	1	1
S4	1	1	1	1	1	1	1	1

リモコンの使用

本リモコンは下記の機能を備えています。
ワイヤレスシンクロスタジオフラッシュトリガー
ワイヤレスシンクロカメラフラッシュトリガー
普通シャッター撮影、長時間露出及びディレイシャッター撮影を含む
ワイヤレスシンクロカメラシャッタートリガー

●ワイヤレスシンクロスタジオフラッシュトリガー

1.接続

カメラの電源をオフにし、トランスミッターをカメラホットシューアダプターに置き、カメラの電源を入れます。
スタジオフラッシュの電源を切り、「フラッシュシンクロコード」によって接続し、片端をレシーバーの「スタジオフラッシュトリガーコネクタ」に差し込み、他の片端をスタジオフラッシュのシンクロソケットに差し込むと同時に、スタジオフラッシュの電源を入れます。



2.操作方法

2.1トランスミッターとレシーバーの「機能選択スイッチ」を「Flash（フラッシュトリガー）」に設定します。
2.2「チャンネル選択スイッチ」でチャンネルを選択し、トランスミッターとレシーバーの選択されたチャンネルを一致させます。
2.3カメラのシャッターを押し、カメラはシンクロにスタジオフラッシュをトリガーします。この時に、トランスミッターの「発信状態インジケーター」とレシーバーの「受信状態インジケーター」はいずれも赤色に点灯し、トリガーに成功したことを示します。撮影しない場合、軽くトランスミッターの「トリガーボタン」を押して、フラッシュのシンクロ状況をテストできます。この時に、カメラシャッターはコントロールされていません。

●ワイヤレスシンクロカメラフラッシュトリガーモード

1.接続

カメラの電源をオフにし、トランスミッターをカメラホットシューアダプターに置き、カメラの電源を入れます。
カメラフラッシュの電源を切り、カメラフラッシュをレシーバーの「カメラフラッシュトリガーコネクタ」に差し込み、カメラフラッシュの電源を入れます。

2.操作方法

2.1トランスミッターとレシーバーの「機能選択スイッチ」を「Flash（フラッシュトリガー）」に設定します。
2.2「チャンネル選択スイッチ」でチャンネルを選択し、トランスミッターとレシーバーの選択されたチャンネルを一致させます。
2.3カメラのシャッターを押し、カメラはシンクロにカメラフラッシュをトリガーします。この時に、トランスミッターの「発信状態インジケーター」とレシーバーの「受信状態インジケーター」はいずれも赤色に点灯し、トリガーに成功したことを示します。



●ワイヤレスシンクロカメラシャッタートリガー

1.接続

カメラの電源を切り、レシーバーをカメラホットシューシートに置き、カメラのシャッターアダプターターミナルキャップを取り外し、カメラのシャッター接続方法によって、「カメラリモコンコード」の両端をそれぞれレシーバーの「シャッター接続コネクタ」とカメラのシャッターアダプターに差し込み、カメラの電源をオンにします。トランスミッターを手取るだけで良いです。

2.操作方法

2.1 普通撮影

2.11「機能選択スイッチ」でモードを選択し、それを「Camera（シャッター普通撮影と長時間露出）」に設定し、トランスミッターとレシーバーの選択された機能のタイプを一致させます。

2.12「チャンネル選択スイッチ」でチャンネルを選択し、トランスミッターとレシーバーの選択されたチャンネルを一致させます。

2.13トランスミッターの「トリガーボタン」を押すことによって機能させます。

普通シャッター撮影モードを選択する時、

「トリガーボタン」を半押しすると、「発信状態インジケータ」は黄緑色に点灯し、フォーカス信号を伝送します。「トリガーボタン」を全押しすると、赤色に点灯し、撮影信号を伝送します。トランスミッターは正しいフォーカス信号を受信すると、「受信状態インジケータ」は黄緑色に点灯し、フォーカスを示します。正しい撮影信号を受信すると、「受信状態インジケータ」は赤色に点灯し、撮影を示します。

2.2 長時間露出撮影（カメラはBゲートに設定される必要があります）

2.21「機能選択スイッチ」でモードを選択し、それを「Camera（シャッター普通撮影と長時間露出）」に設定し、トランスミッターとレシーバーの選択された機能のタイプを一致させます。



2.22「チャンネル選択スイッチ」でチャンネルを選択し、トランスミッターとレシーバーの選択されたチャンネルを一致させます。

2.23トランスミッターを手に取って、「トリガーボタン」を3秒全押しし続けてから手を離れると、トランスミッターの「送信状態インジケータ」は赤色から自動消灯に変わり、レシーバーの「受信状態インジケータ」は赤色を保持し、カメラは引き続き露出します。再度軽く「トリガーボタン」を押すと、カメラは露出を終了し、トランスミッターとレシーバーの状態インジケータは消灯します。

2.3 デイレイ撮影

2.31「機能選択スイッチ」でモードを選択し、トランスミッターを「Delay（デイレイ撮影）」に設定し、レシーバーを「Camera（シャッター普通撮影と長時間撮影）」に設定します。

2.32「チャンネル選択スイッチ」でチャンネルを選択し、トランスミッターとレシーバーの選択されたチャンネルを一致させます。



2.33トランスミッターの「トリガーボタン」を押して機能させます。デイレイ撮影を選択した時、「トリガーボタン」を半押しすると、「発信状態インジケータ」が黄緑色に点灯し、フォーカス信号を伝送し、カメラはオートフォーカスを行います。「トリガーボタン」を全押しすると、デイレイ撮影信号を伝送し、インジケータが赤色に0.5秒点灯してから自動に消灯します。レシーバーは正しいフォーカス信号を受信した後、「受信状態インジケータ」は黄緑色に点灯すれば、フォーカスを示し、赤色に点滅すれば、デイレイ撮影を示し、約5秒点滅した後、カメラの撮影をトリガーします。

仕様

電源トランスミッター	3V (2*AAA)
レシーバー	3V (2*AAA)
伝送周波数	2.4GHzワイヤレス伝送
到達距離	100m（開放エリア）
シンクロ時間	1/250秒
コントロールチャンネル	16個
トランスミッターサイズ/重量	85*36*34 (mm) /40g
レシーバーサイズ/重量	85*37*37 (mm) /40g

カメラリモコンコードモデル及び対応カメラモデル

カメラリモコンコードモデル	
C1 	CANON EOS 1100D(Rebel T3), 1000D(Rebel XS), 700D, 650D(T4i),600D (Rebel T3i), 60 Da, 60D, 550D(Rebel T2i), 500D(Rebel T1i), 450D(Rebel XSi), 100D PENTAX K200, K110D Super, K110D, K100D, K20D, K10D, K-7, K-5, Kr, Kx, *istDS2, *istDS, *istD, *ist, MZ-6, MZ-L
C3 	CANON EOS 1D Mark IV, 1D(s) Mark III, 1D Mark III, 5D Mark III, 5D Mark II, 1D(s) Mark II,1D Mark II(N), 1D Mark II, 50D, 40D, 30D, 20D, 10D, 7D, 6D, 5D, 1D X, 1D C, 1Ds, 1D, 1V, EOS 3, D2000
N1 	NIKON D800E, D800, D700, D300s, D300, D200, D4, D3S, D3X, D3, D2Xs,D2X, D1X, D2Hs,D2H, D1H, D1,F100, N90s, F90X, F5, F6, F90 FUJI S5 Pro, S3 Pro

カメラリモコンコードモデル	
N3 	NIKON D7100, D7000, D5100, D5000, D3200, D3100, D600, D90
S1 	SONY A900, A850, A700, A580, A560, A550, A500, A450, A350, A300, A200, A99, A77, A65, A55, A35, A33, A380, A330, A100

▶ 付属するカメラリモコンコードのうち、C1とC3はCANON向けのものであり、N1とN3はNIKON向けのものであり、S1はSONY向けのものであります。

よくある問題

- 1.カメラにホットシューアダプターがない場合
→オリジナルメーカーに付属された「PCシンクロコード」でカメラとリモコンを接続できます。
- 2.正しくトリガーしたり、撮影したりすることができない場合
→電池が正しく装着されているか否かを確認してください。
→リモコンの電源はオンにしているか否かを確認してください。
→トランスミッターとレシーバーのチャンネルは同じに設定されているか否かを確認してください。
→接続コードとホットシューアダプターは正しくしっかりと接続されているか否かを確認してください。
→トランスミッターとレシーバーの機能モードは正しく設定されているか否かを確認してください。
- 3.カメラは撮影できるが、フォーカスできません。
→本体またはレンズはMF（マニュアルフォーカス）に設定されているか否かを確認してください。MFに設定された場合、AF（オートフォーカス）に切り換えてください。
- 4.他人の干渉によって、リモコンが誤ってトリガーしたり、撮影したりする場合
→リモコンのチャンネル設定を変更してください。
- 5.トリガー距離が限られたり、ミスフラッシュしたりする場合
→電池残量がなくなっているか否かを確認し、また、電池を交換してみてください。

リモコンのお手入れ

- ▲ **落下防止**：強いショックまたは振動を受けた場合、リモコンに故障が生じる恐れがあります。
- ▲ **乾燥保持**：本製品は防水製品ではなく、水中に浸されたり、湿度の高い環境に置かれたりすると、故障が生じることがあります。内部構造に錆びることによって、修理不能な損害を起こすことがあります。
- ▲ **温度急変防止**：温度の急変、例えば寒い日に暖かいビルを出入りすることによって、リモコンの内部に結露することがあります。温度急変による結露を避けるため、予めリモコンを手提げバッグまたはプラスチックバッグに入れてください。
- ▲ **強磁場離れ**：ラジオ放送送信機などの設備による強静電または強磁場は本製品の正常な動作に干渉する恐れがあります。